

番 号	25請願第 9 号 (厚生委員会付託)
受理年月日	平成25年11月29日
件 名	福祉バス「ふれあい号」の利用改善について
提 出 者	三鷹市在住 三鷹市の福祉をすすめる女性の会 津田 清子 ほか 98人
紹 介 議 員	栗原 健治
要 旨	
〔請願内容〕 福祉バス「ふれあい号」をより多くの団体が利用できるように改善してください。 〔請願理由〕 貴議会におかれましては、市民の福祉増進への日ごろの御尽力に敬意を表します。 4人に1人が75歳以上の高齢者という社会が到来しようとしています。私たち三鷹市の福祉をすすめる女性の会では、「高齢者憲章」にあるように、高齢者も社会の一員として自立（自助）し、地域活動やボランティア活動の担い手としてともに支え合う（共助）ことができるように活動をしてきました。 そのためには健康であることが基盤となります。「健康」で「長寿でありたい」と誰もが思っていますが、70・80代が元気であるための健康づくりは個人の生活改善だけでなく、社会環境の整備も必要です。 「三鷹市健康福祉総合計画2022」では「団塊の世代が高齢者となる平成24年以降は、高齢者数と要介護認定者数のさらなる増加が見込まれている中で、今後は、元気な高齢者が参加できる社会活動の場の提供に引き続き努める」となっています。 現在、さまざまな団体が福祉バス「ふれあい号」を活用して身近な地域での人と人とのつながりづくりの活動や高齢者の交流・研修を行っていますが、希望が多く利用が困難な状況があります。 そこで高齢者の自立に向けた施策の充実として福祉バス「ふれあい号」がさらにより多くの団体が利用できるように改善をしていただきたくお願いします。	